

第四十五回帝國議會  
衆議院

# 明治四十四年法律第六十一號中改正法律案

明治三十九年法律第七十五號及明治三十五年法律第二十九號修正關スル建議案  
下級軍人待遇改善ニ關スル建議案  
家祿賞典給與未濟額給與ニ關スル建議案

## 委員會會議錄(速記)第六回

### 會議

大正十一年三月二十三日午後二時十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 三善 清之君

理事 松山常次郎君

萩 亮君

前川 虎造君

久下 豐忠君

松實喜代太君

同月二十二日委員佐藤良平君辭任ニ付其ノ補闕トシテ松實喜代太君ヲ今二十三日委員飯島信明君辭任ニ付其ノ補闕トシテ萩亮君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ  
同月二十二日下級軍人ノ待遇改善ニ關スル建議案、軍人恩給法中改正ニ關スル建議案、家祿賞典給與未濟額給與ニ關スル建議案ノ審査ヲ執レモ本委員ニ付託セラレタリ  
出席政府委員左ノ如シ

內閣恩給局長 入江 貫一君  
大藏省理財局長 小野 義一君  
大藏書記官 太田嘉太郎君  
陸軍主計總監 尾野 實信君  
陸軍一等主計正 田中 政明君  
飯塚 唯助君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ  
仙波 太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

明治三十三年法律第七十五號及明治三十五年法律第二十九號修正關スル建議案

下級軍人ノ待遇改善ニ關スル建議案

軍人恩給法中改正ニ關スル建議案

家祿賞典給與未濟額給與ニ關スル建議案

○三善委員長 開會致シマス、仙波君カラ提出ニナリマシタ下級軍人待遇改善ニ關スル建議案、之ヲ今議題ニ供シマス、仙波君ノ御希望ヲ一ツ御述べニナッテ載キタイ、當局者ニ御質問ガゴザイマスレバ許シマス

○仙波太郎君 日給ノ増額デス、是ハ私ガ錢迄掲ゲタト云フノハ甚ダ不穩當デアル、是ハ自覺ヲシマシタ、ダガ今日ノ日給十二錢ト云フノデハ、日用ヲモ辨スルニ足ラヌト云フコトハ、アナタ方ノ御質問デ御承知ナイ事ハナイ、畢竟背ニ腹ハ替ヘラレナイト云フ譯デ、今日ニ至ッタノデアリマス、

ソレデヤガテ此軍備ノ縮小ガ行ハレルト云フ折柄デアルカラ、今回ハ是非相當ノ額ヲ給與セラレンコトヲ希望シタイノデス、私ハ餘計ナ事ハ言ヒマセス、日給金額ヲ増額サレナケレバ、進モ無產階級者ハ立行コトガ出來ヌ  
○三善委員長 建議ノ理由書ノ第一ニ、二十錢ニ増額スルト云フコトデアリマス、既ニ増額ハアナタ方ハ御異議ハナイガ、唯大藏省トノ關係ニ於テデス  
○仙波太郎君 二十錢トスルノハ、餘程御無理デアラウト思フ、是ハ最小限度ヲ申シタ、ドウゾ多クナルコトニ御骨折ヲ願ヒタイ

○尾野政府委員 今仙波君ノ御提議ニ付テハ、趣旨ハ固ヨリ當局ノ方デモ同意デ、サウシテヤリタイト思ッテ居リマスガ、今御話ノ二十錢ハ、ソレデカニシテモ七百餘圓掛カル譯デアリマス、ソレデスカラ今日ノ財政デハ、餘程實行ガムヅカシカラウト思ヒマスガ、改善ト云フ事ニ付テハ、十分努力スル考デアリマス

○松山委員 一寸陸軍次官ニ御尋シマス、新聞デ見マス、今度陸軍ノ方ガ經費節約ニ付テ御討議ニナッテ居ルガ、ソレニ關聯致シマシテ、下級ノ將校——下士以下デアリマシタカ、待遇改善ト云フヤウナ事ガアッテ、ソレニ付テ矢張二千圓カ二千六百圓ト云フヤウナモノガアリマシタガ、其中ハ兵卒ハ這入ッテ居ラスノデスカ  
○三善委員長 一寸私ハ委員ノ一人トシテ發言ノ御許ヲ願ヒタイ、ソレハ新聞ニアリマスガ、昨日ノ新聞ニ斯ウアルノデス、アナタ方ノ言フノハ、四千萬圓ノ節減ヲ當局ハ認メタ、其中デ二千六百圓ハ下級將校下士兵卒ノ増給ニ充テルト云フ御質問ハ御尤デアリマスガ、私ハ斯ウ考ヘル、實際ソレハ増額スル必要ハアルケレドモ、一方金ヲ減ラシテ一方ニ殖ヤスト云フコトモ、中々ムヅカシイ、併シ是ハ私ノ私案デアリマスガ、現在動メテ居ル下士兵卒等ハ、二十錢所デハナク、三十錢ニモシタイ、是ハ列強ノ實際カラ較ベテ見ルト非常ニ少イケレドモ、財政困難ノ爲ニ今日ノヤウニナッテ居リマスガ、是ハ憲政會デハ非現役稅トカ云フ案ヲ出シテ居ルケレドモ、血稅ヲ金ニ代ヘルト云フコトハ宜シクナイ、ソレデ名ハ何ト云フカ知レマセヌガ、壯丁稅ト云フヤウナモノニシテ、將來國家有事ノ日ニ於テハ、女子モ武器ヲ執ラナケレバナラヌヤウナ事モアリマスカラ、丁年以上ニ達シタル國民ハ、頭割ニ一圓ナリ二圓ナリ出スト云フコトニス

レバ、四千萬圓五千萬圓ノ金ハ何デモナイ、斯ウ云フモノヲ近キ將來ニ於テ議員ノ方カラ法案ヲ出シテ、當局ノ同意ヲ求メルト云フヤウニシテ、何カ便法ヲ設ケテ將來早ク待遇ヲ好クシタイト思フノデアリマス

○尾野政府委員 餘格ガ出テ來テモ、之ヲ下士以下ノ給與ニ廻スガ適當カ、下級將校ニ廻スガ適當デアルカ、是ハ餘程研究スベキモノト思フ、下級將校ハ總テ自分デ支拂ハナケレバナラヌガ、兵卒等ニナレバソレガナイ、自分デ拂フモノハ煙草位ノモノデアル、ソレデドレニ向ケタラ宜イカト云フコトハ、研究問題デアラウト思ヒマス

○仙波太郎君 増加恩給ノ事ニ付テ一ツ根本カラ伺ヒタイ、過日アナタ方ノ方カラ配タモノガアリマスナ、三年間ニ出願シナケレバナラヌトカ云フコトガアリマシタガ、官管銳創ノ爲ニ、十數年後ニ故障ガ出來タト云フヤウナ事ニ付テ、此間アレダケノ事ヲ辯明サレタガ、アレハドウ御決定ニナリマシタカ

○松實委員 ドウモ懇談的ノヤウデ、速記ノ方モ困リハシナイイカト思ヒマスカラ、規律ヲ立テテヤリタイト思ヒマス、議事ノ進行上一寸申上ゲマス

○入江政府委員 建議案ノ六十四號、廢兵優遇及軍人遺族扶助料改正ニ關スル件ノ御審議ノ時ニ、序ヲ以テ出タ問題デアリマス、傷痍ヲ受ケタ者ガ相當ノ恩給ヲ受ケ、若クハ恩給ヲ受ケル程度ニナリマセヌデモ、現役ヲ去ッテ者ガ、其後現役中ニ受ケマシタ傷痍疾病ガ原因トナッテ、病狀ガ増進シテ惡クナッテ行ク、其時ニ現行法ニ依ルト、病狀ニ依ッテ二年若クハ三年內ニ其趣ヲ申出レバ、調査ノ上相當ノ恩給ヲ給シ、若クハソレ以上ノ在來給セラレタ以上ノ恩給ヲ給セラレル事ニナッテ居リマスガ、是ハ二年三年ト云フノハ短カ過キルカラ、ドウカ此期間ヲ撤廢シテ貫ヒタイ、十年二十年經ッテモ、現役中ニ受ケタ傷病ノ爲ニ病勢ガ重クナッタナラバ、其者ニハ相當ノ恩給ヲ支給シテ貫ヒタイト云フ趣旨デアッタノデアリマス、是ハ當局ニ於キマシテモ、二年三年ト云フ期間ハ少シ短カ過ギル憾ガアル、元來現役中ニ受ケタ傷ガ段々重クナッテ、二年若クハ三年ノ間ニ其趣ヲ申出ルト云フコトハアリ得ル事デアリマスガ、ソレガ十年數十年經ッタ後ニ、突如トシテ傷ガ原因デ病弱ニナッタト云フコトハ、極メテ稀デアラウト思ヒマス、醫學上其位アレバ宜イト云間ハ、本法制定ノ當時ニ於テハ、醫學上其位アレバ宜イト云

フ限界ガアツト思ハレマスガ、今日ニ於テハ醫學モ進歩致シマシタカラ、ソレヲ相應ニ延バシマシテ、五年位ノ年限ノ中ナラバ、判定ガ付クデアラウト云フコトデ、恩給局ニ於テ五年位ノ期限ハ延バシテモ宜カラウト云フ考ヲ以テ案ヲ立テ、居リマス、唯官制創ノ如キハ澤山アルモノデアリマスカラ、或ハソレガ爲ニ肺結核ニナツタ、或ハ内臓ノ病氣トナツタ、胃潰瘍ヲ來シタトカ、腹膜炎ヲ起シタトカ云フ例ハ、頻々トアラウト思ヒマス、併ナガラ十年二十年ノ後ニナツテ發シタ病ガ、果シテ現役中ニ受ケタ傷ガ原因トナツタモノデアルカ、又縱シバ現役中ニ傷ヲ受ケテモ、其者ガ現役ヲ去ツタ後ニ十分癒生シタナラバ、サウ惡クハナラナカッタラウト思フガ、不癒生デアツタ、或ハ酒ヲ飲過キタ爲メ、其他惡イ状態ニ居ツタガ爲メ、病氣ガ重クナツタノカ、例ヲ申シマス、肺結核ノ如キハ、傷ヲ受ケタ爲メ氣管ガ弱クナツテ、ソレガ爲ニ肺結核ニナツタノカ、或ハ傷ハ受ケタガ、癒生ヲ十分ニシタナラバ、サウハナラナカッタカト云フヤウナコトハ、今日ノ醫學上ノ智識デハ、到底判斷ガ付カナイ、ソレナラ判斷ノ付イタ者ダケヤレバ宜カラウト云フ御意見ガアルカモ知レマセスガ、若シ判斷ノ付イタノダケヤリマス、他ノ幾多ノ判斷ノ付キ惡イ者ニ對シテハ、不公平デアアル、中ニハ十分癒生シタニモ拘ラズ、病氣ヲ發シタ者モアリ、併シハ非常ニ亂暴ノ生活ヲシタガ爲メ、病ヲ發シタ者モアリ、併シコレガ亂暴ノ生活ヲシタモノノカ、養生ヲシタモノノカト云フコトハ、現役ヲ去ツタ後ノコトハ、到底調ベラレルモノデモナシ、縱シ又ソレヲ調ベトシテモ、今日ノ醫學デハ、十年二十年ノ事ハ、正確ニ判斷スルコトガ出來ナイノデアリマス、要スルニ五年モ經ツ間ニハ、其傷ガ原因デ病氣ガ起ツタトスレバ、自覺モアルダラウ、又必ズ自覺ガナケレバナラズ、サウスレバ五年許リノ間ニ其自覺ヲ訴ヘテ、斯ウ云フ状態ニナツタカラ、適當ノ恩給ヲ與ヘヨト云テ來レバ、ソレニ與ヘヤウ、斯ウ云フ實行上ノ方面カラ五年許リノ期限ニスルコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、現行法ノ二年三年ト云フノハ短カ過ギルト思ヒマス、尙ホ是ハ事關家ノ意見ヲモ確メナケレバナリマセスガ、兎ニ角今日ノ醫學ニ於テ、稍公平ニ判斷ノ付ク程度ニ於テ年限ヲ限リタイト考ヘテ居リマス

○仙波太郎君 我ノ申上ゲタノハ、日露戰役ノ負傷ノ爲ニ、而モソレガ十五年モ經過シタ今日、其當時受ケタ傷ノ爲ニ困難ヲシテ、見ルニ忍ビヌヤウナノガ澤山アルマス、就中官制創ノ如キハ澤山アリマシテ、大津ノ者カラ私ノ所ヘ申シテ來マシタノナドハ、エキス、光線ノ寫眞マデ添ヘテ來テ居ル、其エキス、光線ノ寫眞ヲ見マス、彈丸ガ今ニ其儘存シテ居ルト云フヤウナノモアリマス、ソレガ爲ニ今日

ニ至テ、殆ド絶體絶命ト云フ狀況ニナツテ居リマス、ソレカラ今一ツハ、長崎カラ毎年ヤツテ來マス、去年マデハ陸軍ノ方カラモ年限ガ過ギタカライケナイ、已ムヲ得ナケレバ衛戍病院ヘ入院デモサセテヤラウト云フ恩惠ノ御沙汰ガアツタノデゴザイマス、ソレニモ拘ラズ又本年モ出シテ來マシタ、是ハ明治二十七八年ノ戰役ノ爲メ銃傷ヲ受ケ、ソレカラ身體ガ弱クナツタ、殊ニ近頃ニ至テ最モ重體ノ様子ニナリマシタ、サウ云フノガゴザイマス、ソレデスカラ五年位ニスルト云フ御話デアリマシタガ、尙ホ其後ニサウ云フモノガ出テ來マス、是ハ數ニ於テハ多クハナイ、軍醫ナリ若クハ醫師ガ責任ヲ負ヒテ、是ハ銃傷デアルト云フ診斷ヲ下シタ者ナラバ、恩給ノ御沙汰ニ預ルト云フコトハ差支アリマスマイ、サウスレバ少シモ不公平ハナイト思ヒマス、實ハ私ノ手許ニ訴ヘテ來ル者ガ少クアリマセス、私ハソレヲ見ルト、何トモ同情ニ堪ヘナイノデゴザイマス、去年マデハ片端カラ排斥サレマシタガ、今日ニ於テハ決シテ猶豫ガ出來ナイ、國家トシテハ何處マデモ之ヲ救済スベキガ當然デアルト思フ、ドウゾ一ツハ御熱考ヲ煩シタイノデス

○入江政府委員 御話ノ例ハ、洵ニ氣ノ毒デアリマシテ、何處マデモ同情ハ致シマスガ、御承知ノ通り官制創ハ私ハ醫師ノ方ノコトハ能クハ存シマセスガ、日露戰爭、日清戰爭デハ隨分受ケタ者ガアリマス、殊ニ日露戰爭ノ當時ノ醫術トシテハ、必シモ彈丸ハ拔出サナイ、其儘ニシテ傷ヲ治癒シタモノデアリマス、故ニ日露戰爭ニ於テ官制創ヲ被ツテ、其彈丸ガ身體ノ或ル部分ニ留マツテ居ル例ハ澤山アルト思ヒマス、唯ソレガ原因ガ助膜炎ヲ起シタトカ、今御話ノ例ハ、確カ肋骨ノ間ニ留マツテ居ル「エキス」光線ノ寫眞デアラウト思ヒマス、ソレガ原因トナツテ助膜炎ヲ起シタト云ヘバ、素人トシテハ成程サウカト思ハレマスケレドモ、醫者ノ方カラ申シマス、色々議論ガアルサウデゴザイマス、官制創デ彈丸ガ入ッテ居ル爲ニ助膜炎ヲ併發シタノカ、他ノ原因カラサウナツタカト云フコトハ分ラズ、無論彈丸ガナケレバ一層好イニハ違ヒアリマセスケレドモ、果シテソレガ原因カドウカト云フコトハ、分ラヌラシイノデアリマス、醫學上ノコトハ深くハ申シマセスガ、御意見ノ點ハ深ク了承致シマシタ、尙ホ攻究ハ致シマスガ、今日ノ醫學ニ於テ、其判斷ガ付カナイト云フコトデアレバ、如何トモスルコトガ出來ナイノデアリマス

○仙波太郎君 今一ツ私ハ念ノ爲メ申上ゲテ置キマスガ、只今申シマシタ所ノ外ニ、廢兵院デ調査ヲ致シマシテ、ソレハ私ガ豫テ在職中ニ彼處ニ參リマシテ、大ニ感動致シマシタ、所ガ其後ノ狀況ハドウナツタカ、實ハ過日モ既ニ其後ノ事ヲ調査致シマシタ結果ニ依リマス、廢兵院ニ居リマス

患者、彼處ノ病院ニ收容致シマシタ者ノ中デ、他ノ一般ノ死亡數ト比ベテ見マス、廢兵院入院患者ノ死亡數ガ多イ、其死亡數ハドウ云フモノニ依テ居ルカト、申スマデモナク肺結核ガ過半デゴザイマス、之ヲ以テ見マシテモ、身體ノ不具デアルト云フ者ガ、自然ニ彼ノ結核性ニ對シテ抵抗力ガ無イト云フコトハ證據立ツノデアリマス、何トシテモ見ルニ忍ビマセス、之ガ爲ニ廢兵院ノ病院ニ參リマス、是カラ向フヘ行ツテハイケマセスト云フコトヲ言ツテ居リマス、サウ云フ様デス、兎ニ角今日三十七八年戰役ノ爲ニマダ恩給ニ預リマセヌ、一時金デ居リマス負傷者、ソレガ爲ニ身體ガ不如意ナル者ガ、働クコトガ出來ナイデ困却シテ居ルヤウナ者ガ、マダ「世ノ中ニ少クアリマセヌ、併シ恩給ニ預ルモノハ多數デアリマセヌ、全國ヲ集メタ所ガ知レタモノデアアル、ソレニ殘ラズト云フ譯デアリマセヌ、ドウゾ診斷ノ上、恩給ノ御沙汰ヲスルト云フコトハ、國家トシテノ責務デアラウト思ヒマス、ドウゾ御配慮ヲ煩ハシタイノデアリマス

○入江政府委員 御話ノ事ハ了承致シマシタ、廢兵院ノ狀態ガ惡クレバ、是ハ十分改善シナケレバナラヌコトデアラウト思ヒマス、又日露戰爭當時ノ負傷者ガ、今日困ツテ居リマス者ガ、診斷ノ上ト云フコトハ、診斷ノ方法ニモ依ルコト十分ニ出來ル、診斷ノ方法ガ十分出來マスレバ、今日ノ醫學上十分ニ出來ルト云フナラバ、考慮ヲ致シタイト思ヒ、居リマス、要スルニ是ハ專門學ニ互ル事デゴザイマスカラ、能ク研究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○萩委員 仙波君ハ御提案ガサツタノデセウカラ、御提案ノ趣旨ヲ申述ベレバソレデ私ハ宜カラウト思ヒマス、餘リ當局ト質問應答スルコトハ、時間ヲ要シマス、ドウカ御提案ノ趣旨ヲ大要御説明サレバ、アトハ委員デ質スベキハ質シマス、ドウカサウ云フヤウニシタイ

○三善委員長 御趣旨ハ十分了解シマシタカラ、其位デ御満足ヲ願ヒタイ

○松實委員 我ハ提案者ニ質問シタイノデアリマスガ、貴方ノ御提案ニナツテ居ル此建議案ハ、先刻速記ハマダ付ケヌ時デアリマシタガ、委員長カラ御話ノアツタヤウニ、津野田是重君外二名デアリマスガ、提案ノ廢兵院優遇及軍人遺族扶助料改正ニ關スル建議案ト云フノガアリマスガ、ソレト稍、同一ノモノ、ヤウニ觀察サレマスガ、是ハ既ニ此會デ可決確定シテ居ル管デアリマスガ、此事ハ提案者モ御承知ノコトデアリマス

○仙波太郎君 實ハ一向連絡致シテ居リマセヌカラ、心得テ居リマセヌガ、既ニソレガ重複致シテ、此提案ハ必要デナイト云フノナラバ、ドウゾ御注意ヲ願ヒマシテ、私ハ喜ンデ

取下ゲマス

○松實委員 モウ一ツアナタノ御提案ニナッテ居ル第二項ノ一年以上ノ陸海軍現役完了者ニ選舉權ヲ付與スルト云フノデアリマスガ、是ハ津野田君ノ建議案ニハ無イノデアリマス、其他ハ殆ド同一ノヤウニ思フガ、此選舉權付與ト云フコトハ、私ノ考トシテハ、此下級軍人待遇改善ニ關スル建議トハ、別派ノ意味ヲ有シテ居リハシナイカト思フガ、提案者ハ津野田君ノ既ニ同一ナル建議案ガ可決確定致シテ居ル今日デアリマスカラ、第二項ニ於テ、選舉權付與ト云フコトニ對シテハ、更ニ別ナ方法ヲ以テ建議ナリ何ナリ御執リニナツタ方ガ、穩當デハナイカト考ヘルガ、其御意思ハアリマセヌカ、是ヲ一應伺フテ置キマス

○仙波太郎君 ソレハ私ハ斯様ナ事ハ不案内デアリマスガ、要スルニ下級軍人ノ待遇改善ト云フコトハ、是ガ先立タナケレバナラヌト思ヒマシタカラ、提案シタノデアリマス

○松實委員 私ハソレデ宜シウゴザイマス

○三善委員長 ソレデハ仙波サニ一寸御相談致シマスガ、是ハ津野田君ノ建議案ニ大低盡シテ居リマス、今申ス通り、アナタノハ細カイ條件カヲ成立シテ、建議案トシテハ甚ダ穩デナイ、私トシテハ否決シナケレバナラヌト思フ、然ルニ其御意思ハ十分徹底シテ居ル、恩給局長モ十分アナタノ今仰シヤク事ハ元ヨリ分テ居ル、是ハ撤回シタ方ガ宜カラウト思フ、否決ヨリハ撤回ノ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、ドウデシヤウカ

○仙波太郎君 是ハ既ニ重ナッテ居ルト云フ御注意デアッタナラバ、撤回モシマセウガ、併ナガラ恩給ノ増加ト云フコトハ、外カラ出サレタト云フコトハ未ダ嘗テ聞及バズ、又選舉權ノ如キモ、今日下級軍人ノ待遇改善ト云フコトニハ、無クテハナラヌコトデアラウト思フ、モウ既ニ昨日モアノ席デ申述ベタ、今更數回セヨト云フコトハ、私ハ斷ジテ服從ハ出來ナイ

○三善委員長 ソレハ君ノ誤解デ、撤回セヨト云フコトハナイ、アナタニ御相談スルノデアアル

○仙波太郎君 アレデ不都合ナ建議案ガカラ否決シテシマウト云フ御言葉デアレバ、ソレハ受ケマス

○三善委員長 私ハ委員ノ一人トシテ、此建議案ハ穩デナイ、私委員ノ一人トシテハ否決シタイノデ、マダ満場ニハ諸ラナイ

○秋委員 私人一寸仙波サニ御相談シタイ、此選舉權ノ事ハ、吾々ハ此人ハ働イタカラ選舉權ヲ付與スルト云フ、サウ云フ賞與的ニヤルベキ筋合ノモノデナイト思フ、選舉權ト云フモノハ、國民トシテハ相當ノ位置ニ在ル者ハ、當然之ヲ付與スベキモノデ、ドウ云フ義務ヲ盡シタカラ、是ニ選舉

權ヲ與ヘルト云フヤウナ筋合ノモノデナイト思ヒマスガ、併シアナタハ左様ニ御考ヘニナッテ御提案ニナツタヤウデアリマスガ、ソコデ是ハ日給ノ方ノ事ハ、他ニハ無イカモ知レマセヌ、ソレハ考慮スベキ問題ト吾々ハ考ヘテ居リマス、ソコデ若シ之ヲ今日直ニヤルト云フコトニシテハ、吾々トシテハ大ニ考慮シナケレバナラヌ、直ニ茲デ良イトカ惡イトカ云フデヤルコトハ甚ダ穩デナイノデアリマスカラ、ドウカアナタモ御考ヘ下サツテ、アナタノ建議案ノ中ニハ色々ナ事ガ書イテアリマス、選舉權ノ如キモ功勞的ニヤルヤウナ御考デアルトスレバ、吾々ハ甚ダ困ルノデスガ、何トカ御考慮下サル餘地ハナイノデセウカ

○仙波太郎君 併ナガラ撤回セヨトノ……

○三善委員 サウデハアリマセヌ、議案ヲ出スコトハ議員ノ貴方ノ權利デスカラ何デスガ、此儘デハ吾々ガ建議案ヲ處理スルニ於テ非常ニ困ルノデス、一箇條ハ否決シテ一箇條ハ可決スルト云フコトハ、甚ダ混雜ランシマスカラ、アナタノ方ニ何カ宜イ御考ハアリマセヌカト云フコトヲ伺ッタノデス

○仙波太郎君 兎ニ角ソレニ付テ良案ヲ持ッテ居リマセヌガ、要スルニ其趣意……

○秋委員 ソレデハ私ハ此案ヲモウ少シ慎重ニ考慮スル必要ガアリマスカラ、又我黨ノ機關ニモ協議スル必要ガアリマスカラ、此案ハ此程度ニ止メテ打切り願ヒマス

○仙波太郎君 茲ニ陸軍次官ニ御願キテ願ヒタイコトハ、私ハ唯々兵ニ恩給ヲ頂戴シタイト云フノデハナイ、其最後ニ書イテアリマス事柄ハ、ドウカ廢兵ニ自分ノ機能ニ適當スルダケノ生業ヲヤランタイ、何事デモ自分ノ手ニ入ッタ仕事ヲヤラシメテ、手ニ入ラン者ガ出來レバ、教育マデモ教ヘタイ唯願ッテ食フテ寢テ死スルト云フコトガ、今日ノ廢兵ノ大體ノ狀況デアリマスガ、是ハ悲ムベキコトデアアル、又國家カラ言フデモサウデアアル、假令不具者ニナッテモ、ソレ相當ナ機能ヲ持ッテ居ル、而シテ出來ルダケノ社會奉仕ヲ一ツサセタイ、此意味カラランテ聯隊區司令官ヲ一度宛廢兵ノ宅ヲ慰問サシテ頂キタイ、サウシテ廢兵ノ不具ノ具合、如何ナルモノダト云フコトヲ改メテ、サウシテ其有シテ居ル所ノ義手義足ハ彼ノ機能ヲ全ウスルニ適當デアアルヤ否ヤト云フコトヲモ問ヒ質シ見定メ、サウシテ其義手義足ニ對シテハ陸軍省ニ於テハ大戰後ノ歐羅巴カラ段々取寄セラレタル所ノ進シタル義手義足ガアル、現ニ製造サレツツアル、之ヲドウゾ廢兵ノ希望ニ應ジテ給與シテ、彼等ヲシテ其機能ヲ全クセシメタイ、如何ニモ面倒イヤウナ事デアリマスガ、逆モ町村自治體ニ於テハ、左様ナ事ヲ願ミルユトリハ無イノデアリマス、デハハ聯隊區司令官デ見廻リシテ、相當ナ世話

ヲスルト云フコトモ、今日ノ場合適當ナル事柄デナイカト思フデ、是ハ聯隊區司令官ヲシテ心配セシメタイト云フコトヲ希望スル、同時ニ又義手足等ヲ陸軍省醫務局デ能ク合フカ合ハナイカト云フコトヲ見サセル必要カラシテ、自然上京モサセナケレバナラヌト云フ時、乘ルニ船車等ニ付テモ、便利利益ヲ與ヘテ頂キタイ、殊ニ東京港在中ニハ、廢兵院ニ收容シテ生活ヲサセテ頂クト云フコトニスル如キモ、是ハ國家トシテハ相當ナ力デアアル、之ヲ私ハ一ツ御願ヒシタイノデアリマス

○尾野政府委員 只今仙波君カラ御提議ニナリマシタコトハ、當局ニ於テモ御同意致ス所デアリマス、今ノ廢兵ノ家宅慰問ヤ生活狀態ヲ見ルト云フコトハ、是ハ嚴格ニ實施スル時ハ、色々聯隊區ニ於キマシテモ、人員ガ餘リ多クアリマセヌカラシテ、又旅費ノ關係等ノコトモアッテ、十分トハ參リマセヌカ知リマセヌガ、成ベク御趣旨ニ叶フヤウニ努力サセル積リデアリマス、ソレカラ義足義足等ノコトニ付テハ、サウ云フ不適當ナ點ガアレバ、必ズシモ上京センデモ、其附近ノ衛戍病院マデ行ケバ夫ヲ點檢ヲシテ修理スル方法モ出來テ居ルカラ、能フ限リ其方法ヲ執リ積リデアリ、地方ノ衛戍病院デ出來ヌナラバ、今御説ノヤウナ方法ヲ以テ、上京ヲシテ義手義足義足ニ適當スルヤウニ直シテヤル、其間廢兵院ニ泊ラセルト云フコトハ、今出來ルヤウニ成ッテ居リマスガ、尙ホ將來モサウ云フヤウニ致スコトニ付テハ異存ハアリマセヌ

○仙波太郎君 廢兵ガ今ノヤウナコトデ上京ヲスル、若クハ歸郷スルト云フ節ノ「パス」デスガ、アレハ重傷者ニ對シテハ極メテ不便デアアル、必要ノ場合ハ一箇月前カラ申サシテバ間ニ合ハナイ、一箇月前ニ申出デ、ソレデヤト手ニ入ル、斯ウ云フコトト、ソレカラシテ輕傷者ニ對シテハ「パス」ニ付テノ御沙汰ガナイ云々ト云フコトハ、是ハ何處ノ誰ガ申シタコトカ、私ハ鐵道省カラノ代表者ノ方ニ御尋ネ申シタイ

○三善委員長 其件ハ昨日津野田君ノ建議案ノ際ニ、當局者トノ質問應答ガアリマシテ、陸軍省デモ鐵道省ニ向ッテ交渉中デアアル、今進行中デアアル、ソレデ貴方ノ本建議ハ、實ハモウ一回モ審議ヲ致シマシタナラバ、御満足デアアルカモ知レマセヌガ、最早會期切迫ノ場合デ、實ハ其内容ニ、此陸軍現役兵一二等卒ノ日給ハ少クトモ二十錢ヲ増加スルコト、云フ事ヲ御書キニナツタノガ、甚ダ穩カデナイ、唯増額ヲ希望スルトカ云フコトニ出來テ居ルト宜イ、思ヒマス、モウ一ツ選舉權ノ事モ、實ハ此處ニ加ヘルト云フコトハ、松實君ノ御話ノヤウニ、別ニ爲サツタガ宜カラウト思ヒマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、私ハ委員長トシテデナク、此委員會

ノ委員トシテ此建議ニハ賛成ハ出來ナイ、斯ウ云フ私ハ意見デアリマス。茲デ可否ヲ決シタイと思ヒマス、諸君、可否ヲ決シテ戴キマスカ、モウ一回延バスト時日ガアリマセヌカラ、ソレデハモウ一回開クコトニ致シマス、ソレデハ次ノ案……

○松實委員 甚ノ時間ガ不足ノ折柄、御迷惑ノ至リデアリマスガ、少シク説明ヲサシテ戴キタイと思ヒマス、是ハ見出シハ軍人恩給法中改正ニ關スル建議案デアリマスガ、内容ハ北海道屯田兵ニ對シテ、普通師團勤務將校下士卒ト同一ニ、速ニ恩給ノ恩典ニ浴セシメラレシコトヲ望ム、斯ウ云フノデアリマス、御承知ノ通り北海道ニ屯田兵制ヲ布カレタノハ明治八年デアリマス、サウシテ爾來明治二十九年ノ五月マデ、即チ北海道ニ七師團ノ設置ニ至ルマデ、此兵制ト云フモノハ存置シテ居タルノデアリマスガ、北海道屯田兵ハ何ノ爲デアルカト申シマスレバ、是モ私ガ喋々申上ゲル迄モナク、北門ノ鎖鑰即チ北門ノ警備ニ當ルコト云フ事ト、又北海道開拓ノ先驅者タル所ノ任務ヲ果ス、斯ウ云フ二ツノ爲ニ移住セシメタモノデアリマス、其當時ノ北海道ハ、今日トハ大ニ趣ヲ異ニ致シマシテ、荒寥タル原野、鬱蒼タル森林デアリマシテ、異ニハ猛惡ナル所ノ熊ヤ狼ガ拔扈跳梁致シテ、サウシテ屯田兵ノ中ニモ幾多ソレガ爲ニ殺傷ヲ受ケタト云フヤウナ事柄アルノデアリマス、サウ云フ間ニ於テ、屯田兵ノ骨子タル兵員ハ、軍事ノ訓練教練ニ服スルト共ニ、家族ハ荆棘ヲ開キ、森林ヲ伐倒シ、サウシテ開墾ニ從事致シタルト云フヤウナ、實ニ苦心慘憺ヲ極メテ居ルノデアリマス、屯田兵役ハ最初三箇年デアッタノガ、其後七年ニ改正サレ、又更ニ明治二十五年ニハ八箇年ニ改正サレタノデ、隨分此現役期間モ長イヤウナコトニナッタノデアリマス、而シテ屯田兵ノ最初ノ時ニハ、軍事上ノ訓練ト申シマスカ、教練ト申シマスモノハ、餘リ嚴格デナク、又繁劇デモナカッタノデアリマスケレドモ、日清ノ戰爭前、即チ明治二十五年ニ、所謂東洋ノ風雲ガ急ニナッタト云フ時分ニ當リマシテハ、舊來ノ軍事教育ノ方針ヲ改メマシテ、非常ニ嚴重ニ又繁劇ナル訓練ヲ施シタ、斯ウ云フコトデアリマス、續イテ日清戰役トナリ、サウシテ日清戰役ハ終タルノデアリマスケレドモ、彼ノ遼東還付ノ所謂臥薪嘗膽ノ時代ニ入ッタノデアリマスカラ、中々軍事訓練ト云フコトガ、非常ニヤカマシクナッタノデアリマス、サウシテ又更ニ日露戰役トナルト云フヤウナ譯デアリマスカラ、此間ニ於ケル軍時ノ時ハ勿論言フマデモナナルシ、又嚴重ニモナッテ、普通師團兵ノ訓練ニ優ルトモ、決シテ劣ラナカッタノデアアル、サウシテ屯田兵ハ明治十年西南戰爭ヲ初メトシテ、日清戰役、日露戰役ニ出征シテ、義勇奉公

ノ誠ヲ致シタト云フヤウナ歴史ヲ持ッテ居ルノデアリマス、サウシテ先程申シタ明治二十九年五月ニ、北海道ニ第七師團ヲ設置サレタ時ニハ、屯田ノ司令官ハ其團長ニ補シ、サウシテ司令部ト云フモノハ廢セラレテ、各屯田兵隊ハ獨立大隊トナッテ、サウシテ其任務ハ軍事上ノ任務ヲ盡スコトニナッタノデアリマス、只今申シタヤウナ次第デ、軍事上ノ教練ト云フモノハ、非常ニ嚴格繁雜デアリマシテ、其成績ト云フモノハ頗ル優良デアッタノデアリマス、茲ニ其當時司令官デアッタ所ノ渡邊水哉ト云フ御方ガ、特ニ屯田兵ノ爲ニ證明書ヲ與ヘラレテ居ル、ソレハ少シデアリマスカラ一寸朗讀ヲ許シテ戴キタイと思ヒマス、夫レハ「小官ハ明治二十七年屯田步兵第三大隊長トシテ北海道ニ赴任シ次テ明治二十九年屯田步兵第一大隊長ニ轉ジタルガ屯田ハ兵農ノ重任ヲ双肩ニ擔ヒ北門ノ警備ニ任ズルト共ニ一面北海道開拓ノ先驅者タルヲ以テ之ガ任務ヲ全フセシムル小官ノ職責亦極メテ重大ナルモノアルヲ感知シタリ而シテ屯田兵ハ幸ニ家族制度ナルヲ以テ軍務ハ専心兵員之ニ任ジ農事ハ専ラ家族之ニ從事セシムルニ於テ始メテ兵農二ツノ重任ヲ全フセシムルヲ得ベシト信ジ時ノ參謀長現陸軍大將淺田信興氏ノ同意ヲ得專ラ此精神ヲ以テ屯田兵訓練ノ任ニ當レリ殊ニ當時東洋ノ風雲穩カナラズ軍事教育ノ一日モ忽諸ニ付スベカラザルモノアリシヲ以テ兵員ノ訓練ニハ全力ヲ傾注シタル爲師團兵ニ劣ラザル成績ヲ擧ゲ得テ故野津東都督ノ激賞ヲ蒙リタルノミナラズ中央政府ニ於ケル陸軍當局ノ等シク認ムル所タリシ之レ要スルニ屯田兵ハ六年乃至八年ノ長月日現役ニ服シ其間兵員ト家族ノ責務ヲ明カニシ兵員ハ専ラ軍務ニ服シ其家族ヲシテ開墾ト稼穡ト責ヲ負ハシメテ兵ト農ヲ事實ノ上ニ於テ區分シ軍事訓練ニ重キヲ置キタル結果武技ノ練磨ハ勿論軍人精神ノ修養取テ常備隊ニ遜色ナキノミカ或部分ニ於テ寧ロ卓越セル事有ルヲ自信セリ右證明ス大正十年三月二十二日陸軍少將渡邊水哉「斯ウ云フヲ渡邊水哉君ガ屯田兵ノ成績ヲ稱揚シテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク屯田兵ノ閱歷勤勞等ハ頗ル立派ナモノデアアルケレドモ、移住當時僅カナ給與ヲ受ケタ爲ニ現役間ト云フモノヲ恩給年數ニ通算スルコトヲ得ナイノデアリマス、サウシテ大部分ガ給與ノ恩典ニ浴スルコトガ出來ナイヤウニナッテ居ル、私ハ斯ウ云フ事ハ甚ダ國家トシテ血毛涙モナイ事デハナイカト深ク思フノデアリマス、最モ大正六年ニ軍人恩給法ヲ改正致シマシテ、幾分力其中ニ恩給ニ有リ着クコトガ出來タノガアルノデアリマス、ソレハドウ云フ事デアアルカト申シマス云フコト、屯田兵ノ除ニ在、サウシテ常務ニ服シタ、斯ウ云フコトニナッタノデアリマス、常務ニ服シタ者ハ恩給ノ恩典ニ沿スルト、斯ウ云フコトニナッタガ、常務ト云フノハ

何デアアルカト云フト、給與係トカ、或ハ射撃係、或ハ靴工、ソレカラ縫工ト云フヤウナ、比較的閑職ニ在、タ所ノ者ハ、其恩給ニ浴スルノ恩典ヲ得タルノデアリマスケレドモ、實際ニ軍事ノ教練ヲ受ケタ所ノ者ハ其恩典ニ浴スルコトガ出來ヌ、是ハ甚ダ矛盾ノ感ガアルノデアリマス、所謂主客顛倒ノ感ガアルト私ハ思フノデアリマス、ソコデ屯田兵ハ此給與ヲ受ケタト云フコトガ、非常ニ邪魔ニナッテ、一般ノ其師團兵ト同様ノ恩給ニ浴セナイノデアアルガ、ドウ云フ給與ヲ受ケタカト申シマス、土地ハ無論一戸分ト云フコトノ給與ヲ受ケテ居ル、併シ此土地ト云フノハ、外ノ移住民デモ只賞ヲ受ケルノデアアルカラ、之ガ別段其給與ニ關係ハナイノデアリマス、サウシテ給料ハドウ云フ給與ヲ受ケタカト云ヒマス、一寸書類ヲ開達イテ持ッテ參リマシタガ、私ノ一寸記憶ニ依リマス、十人ノ家族ガアリ七人ノ家族ガアッテモ、五人以下ニ制限セラレテ、五人ヨリ以上ハ給與ヲ受ケナカッタ、サウシテ玄米ハ大人中人小人ト分ケマシテ、玄米ノ給與ハ大人ガ七合五勺、中ガ五合、小ガ三合ダと思ヒマス、ソレカラ鹽藥料ノ如キモ、之モ一寸今記憶ガ無イガ、確力大人ガ一錢五厘、中ガ一錢、小ガ五厘デアッタカト思ヒマスガ、サウ云フ風ニ僅カ三箇年ノ間給與ヲ受ケタノデアリマスガ、ソレヲ以テ六年モ七年モ八年モ此現役ニ服シタト云フ、斯ウ云フ事デアリマスカラ、之ヲ假リニ一家族ニ對スルモノゾバツト七箇年ノ無給料軍務ニ服シタトシテ割當テ、其當時ノ計算ヲ見マスルト、一家族五人デ一日ノ給料ガ十錢ニ足リナイ、九錢九厘ト云フヤウナ風ニナッテ居ルノデ、ソレガ爲ニ此恩典ニ浴スルコトガ出來ヌノハ、如何ニモ氣ノ毒ナ事ト思ヒマス、又屯田兵ハ御承知ノ通り嚴格ナル規則ガアリマシタカラシテ、外ノ一般ノ移住者ハ自分ノ當タ土地ガ瘠薄デアルトスレバ、他ニ土地ヲ求メテ轉徙シテ耕作スルコトガ出來タケレドモ、屯田兵ハ束縛サレテ耕作シテ居ルノデアリマスカラシテ、ドンナ惡ルイ土地ニ當テモ、勤クコトガ出來ナイ、サウシテ屯田兵ノ給與サレタ土地ハ、何方チカト云ハバ中以下ノ、極ク上等ノ土地デハナカッタヤウナ譯デアリマスカラ、其點ニ於テモ北海道ニ移ッタ屯田兵ト云フモノハ、不便ナ地位ニ在、タノデアリマス、デアリマスカラ、是ハ多年吾々ガ非公式ニ當局者ニモ折衝致シテ居リマス、又先日ハ陸軍大臣ニモ出會ッテ、色々陳情モシタルデアリマスガ、マダ要領ヲ得ヌノデ、實ハ法律案ノ改正モ出シテ見タイト云フヤウナ考モアリマシタケレドモ、本年ハ先ヅ建議案トシテ出シマシテ、サウシテ當局者ノ御考ヲ得タイト斯ウ云フノデアリマス、ソレカラ最後ニ至リマシテ申上ゲタイノハ、斯ウ云フ事ガ一番邪魔ニナッテ居ルヤウデス、屯田兵ハ入隊スル時ニ、既ニ恩給ト云フコトニ現役ハ

計算サレタコトヲ知テ居タガアル、然ルニ今日ニナッ  
之ヲ彼は言フノハ、甚ダ不都合チヤナイカト云フヤウナ  
トガ、恩給ノ恩典ニ浴セシメラレ主モナル理由ニナッテ居  
ルヤウデアアルガ、併シソレナラバ、北海道——ニ先程申シ  
ヤウナ比較的關係ニ在ッ、靴工、縫工、給與係ト云フヤウナ  
者ニ、恩給ニ浴セシムル恩典ヲ與ヘタカ、斯ウ云フ軍人恩給  
デモ、文官恩給デモ、最初チヤント決定シテアツタモノガ、ソ  
レガ最初ノ約束ナシデアアルガ、後カラソレヲ改正シテ恩典  
ヲ増加シテヤツタト云フヤウナ事ガアルノデアリマスカラ、  
其ノ筆法カラ云フト、何モ其最初ニ是ハ此恩典ノ缺ケ  
テ居ルコトヲ承知シテ居タツ言フンダカラ、今日ソレヲ増  
額スルコトハ必要ハナイ、新ラシク拵ヘテヤル必要ハナイ  
デハナイカト言ヘハ、ソレハ宜イガ、外ノ軍人文官ニ對シテ  
ハ後デ増額モシテ居ルシ、サウシテ又色々待遇ヲ好クシテ  
居ルノデアリマスカラ、其點カラ言ヒマシテモ、此只今申シ  
タ屯田兵ニ恩典ヲ與ヘルト云フ——恩給ヲ與ヘルト云フコ  
トニ反對ノ理由ハ成立タヌト思ヒマス、サウシテ先程申シ  
タヤウニ、此日清日露、マア古キハ明治十年ノ西南戰爭ニ從  
事シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ風ニ致シテ、此國家ノ  
爲ニ誠忠ヲ致シ、義勇奉公ノ誠ヲ致シテ居ル所ノ屯田兵デ  
アルカラシテ、此現役ヲ通算スルコトヲ許シマシテモ、大シ  
タ金額ニモナリマスマイ、又大シタ程ノ人数ニモナラスデ  
アラウ、今日約概算ガ一千三百人程アルト云フコトデアリ  
マス、金高ガドレ位ニナルカ知レマセウガ——デアリマス  
カラ、何等此當局者及恩給局ノ關係當局者ニ於テモ、此憐ム  
ベキ屯田兵ニ對シテ、恩給ノ恩典ニ浴セシムルト云フコト  
ヲ、是非御願ヒシタイト思ッ、此建議案ヲ提出シタノデア  
リマス、ドウゾ宜シク御願ヒ致シマス

○田中政府委員 此建議案ノ御趣旨ニ付キマシテハ、一應  
諒トスル所デゴザイマスガ、申上グル迄モナク其屯田兵ハ  
其職務ノ實際並給與ノ方法等ニ付キマシテ、七年義務兵ト  
ナッテ居ル徵兵トハ、餘程趣ヲ異ニシテ居リマス、隨テ一般  
ニ屯田兵ノ服役期間ト云フモノヲ、只今御話ニナリマシタ  
ヤウナ恩給年數ニ通算スルコト云フコトハ、陸軍當局ト致シ  
マシテモ、如何ナモノデアラウカト考ヘマス、併シ此點ニ付  
キマシテハ、尙ホ實際ノ實情等ヲ調査致シマシテ、近キ將來  
ニ於テ恩給法ノ根本的ノ改正ガアリマスカラ、其際ニ能ク  
考慮致スコトニ致シマス

○三善委員 ンレデハ採決致シマス、可決シマスカドウ  
デス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○三善委員長 ソレデハ只今ノ軍人恩給法中改正ニ關スル  
建議案ハ可決致シマシタ、次ハ家祿典與祿給與未濟額給與

ニ關スル建議案、之ヲ議題ト致シマス  
○秋委員 是ハ事態ハ極メテ簡單デアリマスガ、事柄ハ稍  
重大ナモノデアリマス、極メテ簡單ニ御説明ヲ申上ゲマス、  
明治三十年ノ法律第五十號、家祿典與祿給與未濟額給與  
ノガ出テ、次デ明治三十二年ニ其施行法ガ出テ居リマス、此  
法律並ニ施行法ハ、實ハ何人モ最初明治三年以降——明治  
九年太政官布告第八號、同第百五十二號ト云フモノガ出  
テ居リマスルガ、三年以降スル此布告ガ出ル迄ノ間、並ニ  
此布告以後ノモノニ、此法令ハ施行セラレモノト思ッ、テ  
居タノデアリマス、然ルニ當局者ノ解釋、行政裁判所ノ判  
定ニ依リマスルト、明治三十年法律第五十號ト云フモノハ、明  
治九年ノ太政官布告第八號及百五十二號布告施行ノ際  
以後ノモノ、ミニ適用セラル、法律デアリマシテ、明治三  
年藩制施行以後、右第百八號及百五十二號布告迄ノ分ハ、適  
用ガナイト云フコトニ今日ナッテ居ルノデアリマス、然ルニ  
實際ノ事情ハ、矢張其布告ノ前後ヲ問ハズ、藩制施行以後ノ  
分ニ於テハ、悉ク同様ノ恩典ヲ受ケナケレバナラス筋合  
モノト考ヘマス、事柄ハ詰リ明治三年九月十日以後祿有  
テ居タ者ハ、其祿高ニ對シマシテ給與ヲ受ケ、若クハ相當  
額給與ニ不足ノ分ガアツタ時分ニハ、此三十年ノ法律五十號  
ニ依ッテ之ヲ救済スルコト云フヤウナ意味ノ法律デアリマス、  
其布告ノ前後ニ依ッテ之ヲ區別スルコト云フコトハ、何等ノ理  
由ノナイモノデアアルト考ヘマス、是ガ先ヅ大體ノ要旨デア  
リマス、而シテ此事實ヲ證明スベキモノハ大分アリマスガ、  
併ナガラ其中最モ顯著ナルモノトシテハ、都城ト云フ縣ガ  
アツテ、其處ノ權參事上村行徵ト云フ人カラ御届ガアル、ソ  
レハ斯ウ云フ事ガ書イテアリマス、鹿兒島縣士族卒世祿高  
之儀一石ニ付キ三斗八升七合定代米ノ内八升一合宛舊藩中  
適宜ヲ以テ非常軍備ノ爲士族卒中該官庫ハ相屯置舊藩中  
館並火藥之兩局ヘ宛行置候處右兩局共陸軍省ヨリ御引揚成  
相成就テハ右八升一合宛ハ士族卒ヘ差返度旨同縣ヨリ相伺  
候處願之趣御開届之段承知仕依之同縣ヨリ當縣ヘ分割相成  
候士族卒家祿モ前文同様ノ事ニ候間一石定代米ノ内八升一  
合宛高主ヘ差返申候間此段及御届候也是ハ要スルニ鹿兒  
島縣ニ向テ政府ガ差戻シテ宜イト云フコトデアツテ、薩藩  
ノ中ノ都城縣デハ其ノ通り取扱タツト云フ居デアリマス、併  
ナガラ矢張薩藩デアレバ、鹿兒島縣モ同様デナケレバナラ  
ヌノデアリマスガ、是ガ下戻シニナッテ居リマセウカラ、本  
案ニ依ッテ一ツ法律ヲ政府ハ制定セズシテ、下戻シノアルヤ  
ウニ致シタイト云フ趣意デアリマス、是ハ鹿兒島縣ノ事ダ  
ケ申上ゲマシタガ、獨リ鹿兒島縣許リデナイ、各藩ニ斯ウ云  
フ事柄ガアルノデアリマスカラ、必シモ鹿兒島縣ノ爲ニノ  
ミノ法律制定ヲ主張スル譯デハナイ、總テサウ云フ給與漏

レノ分ニ對シテ、詰リ明治維新ノ御趣旨ニ依リマシテ、一般  
ニ給與セラレンコトヲ切ニ希望スルノデアリマス  
○小野政府委員 只今秋サシカラノ御説明ガアリマシタガ  
洵ニ此問題ハ政府ト致シマシテハ困難ニ感ジテ居リマス、  
ト申シマスルノハ、今迄秩祿ニ關スル法律ガ數回確定致シ  
テ居ルノデアリマスルガ、其、中ニ於キマシテ、只今問題ト  
ナッテ居リマス所迄、適及シテ救済スルコト云フコトハ一度モ  
議ニ上ッテ居ナイノデアリマス、勿論法律ノ事デアリマスル  
カラ、政府ノミデナク、立法院ニ於テモソ迄ハ行カナクテ  
モ宜カラウト云フ見解ニ出デタモノト存ジテ居ルノデアリ  
マス、既ニ久シキ間、サウ云フ見解ヲ以テ終始シテ參タノ  
デアリマスルニ拘ラズ、今之ヲ明治九年以前ニ遡ラスト云  
フコトニ付キマシテハ、從來ノ見解ヲ覆サナケレバナラス  
コトニモナリマスルシ、又一寸調ベマシタ所デモ、中巨額  
ナル財政上ノ負擔ヲ餘儀ナクセラレバヤウナ風ニ相成ルヤ  
ウデアリマス、洵ニ政府ト致シマシテハ、此問題ニ對シマシ  
テ困難ニ感ジテ居リマス

○三善委員長 一寸委員ノ一人トシテ政府委員ニ御尋シマ  
スガ、是ハドノ位ノ金額ニナリマスカト云フコト、尙將來  
十分此點ノ御研究ノ餘地アリヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒマス  
○小野政府委員 要スルニ是ハ行政訴訟ナリ、或ハ大藏省  
ノ決定トナリシモノ、錯誤トシテ、整理サレタ分ニ遡及ス  
ルコトニナリマスガ、現在判然定テ居ルコトノモノノデ  
モ、約四百二十萬ハアルヤウデアリマス、所デ御承知ノ通  
リ秩祿ニ關スルモノナリ、其他今デモ澤山出テ居リマスガ、  
若シソレ等ノモノガ矢張錯誤ノ整理ト云フコトヲナスベキ  
決定ヲ見ルコトニナリマシタハ、又其點ニ於テ増額ヲ生  
ズルノミナラス、秩祿ニ關スル法律ハ度々出ルノデ、殆ド際  
限ガ無い譯デアアルカラ、先ヅ今回ヲ以テ最後トスルコト云  
フ意味デ、大正八年法律第三十四號ニ對シテ政府ハ御同意申  
上ゲタツト云フ沿革モアルノデアリマスガ、大正八年ノ法律  
第三十四號ニ依ッテ申請ラシテ來タモノニ付テハ、未ダ少シ  
モ決定ヲ見テ居ラスノデアリマス、ト云フト如何ニモ大藏  
省ガ怠慢ノヤウニ聞エマスガ、サウデハアリマセウノデ、一  
ノ法律ニ準據シテ申請シテ參タモノハ、ソレハ一度ニ決定  
ヲ與ヘルト云フコトニ致シマセウト、其間ニ前後ノ差別ガ  
アツテハ面白クナイカラ、着々討論致シテ居リマスガ、ソレ  
ガドレ程ニナリマスカ、今日想像ハ付キマセウガ、ソレニ基  
キテ決定セル錯誤整理ヨリ起レルモノ等、此建議案ノ適用  
ヲ受クル由ヲ生ジ來ルモノガ、事實上ドウシテモマダ多ク  
ナルドラウト思ヒマス、併シソレガドレ程ニナルカト云フ  
コトハ殆ド見當ラズキマセウ、餘程多クナルトハ想像致シ  
マス、實ハ政府トシテハ大正八年ノ法律ヲ以テ秩祿ニ關ス

ル法律ノ制定ハ、最後ト致シテ居ルト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○秋委員 ドウモ八年マデハヤルガ、其後ノ九年カラノモノニハヤラスト云フコトハ、何カ理由ガアルノデセウカ

○小野政府委員 先刻モ其點ノ御尋ガアリマシタガ、要スルニ明治九年ノ最後ノ祿制ニ依ッテ定メタモノニ對シテ、茲ニ一ノ定額ヲ給シテ、サウシテ生活ノ資金トナサシムル、ソレニ付テハ金祿公債ニ依ルモノハ、先ヅ最長十四年ト云フヤウナコトモアリマシタガ、サウ云フ事ニ由ッテ將來生活シ得ル資源ヲ與ヘタイ、斯様ナ途ヲ開クコトノミヲ十分ナリトシテ、然ラズ、其九年前ノモノニ就テハドウスルカト云フコトハ、何人モ疑ガ起ルノデアリマスガ、將來生活ノ元手ヲ與ヘヤウト云フソレニハドレダケノ祿ノ者ニハドレダケノモノニ當ラルト云フコトノ研究ヲ其範圍ニ止メタノデアリマス

○久下委員 本案ハ提案者カラ先刻來説明ヲ承リマスレバ、如何ニモ御尤ト感ジマスルシ、只今政府委員ノ御話ニ依レバ、大正八年ノ秩祿ニ關スルモノハ、一先ヅ打切ッテ意味ヲ以テ制限シタト云フコトデアリマスガ、併シソレハ吾々ノ關セヌ事デ、知ラナイ事デアリマス、大正八年ト今日トハ時節モ違ッテ居リマスルシ、所謂社會政策カラ考ヘマシテモ、又從來ノ處分上ノ不公平、不權衡ナル恩典ニ浴シテ居ル者ヲ救済スルト云フコトガ現レテ來タ以上ハ、國家トシテハ之ニ對シテ當然相當ノ經費ヲ出シテ差支ナイモノデアルト云フ見地カラ、本案ニ對シテハ贊成致シマス

〔贊成ト呼ブ者アリ〕

○三善委員長 ソレデハ本案ハ可決致シマス——ソレカラ主計局ノ政府委員御出席デアリマスガ、仙波君カラ建議案ガ出デ居リマスガ、陸軍現役兵一二等卒ノ日給ヲ仙波君ガ二十錢ト定メテ建議シタコトニ付テ、大藏省ノ政府委員ノ御意見ヲ伺ヒマス

○太田政府委員 大藏省ト致シテハ、下級軍人ヲ優遇スル所ノ精神ニ於テハ、誠ニ結構デアラウト考ヘマスケレドモ、併ナガラ何分一二等卒ハ兵數モ多イ位デアリマスカラ、之ヲ二十錢ニ増額スルコトニナリマス、國庫ノ負擔ガ多大デアリマスカラ只今ノ所ニ於テハ財源ガ無イノデアリマス、但シ軍縮ノ結果等ニ於テ、陸軍ニ於テ大ニ經費ヲ節減セラレマシテソレニ依ッテ得タ金ヲ一部廻サレルナラバ、ソレナラバ、其際考慮スルコトモアラウカト思ヒマスガ、只今ノ所デハムズカシウゴザイマス

○三善委員長 陸軍當局者ニ伺ヒマスガ、陸軍縮少ノ即チ本日委員會決定致シマシタコトノ希望ハ、此處ニ出ル節約金ハ所謂手取金デアルト云フヤウナ條件デアリマス、ソ

レヲ他ヘ使ヒタイト云フヤウナ條件ガアルヤウデスガ、此建議ノ第一ノ二十錢ト云フコトニ付テハドウデアリマスカ  
○田中政府委員 先刻次官カラモ述ベラレマシタヤウニ、二十錢ニシマスニ付テハ、詰リ八錢殖エルノデアリマス、今迄十二錢デアッタノヲ二十錢ニスルト、一人前ニ付テ八錢宛殖エルノデアリマスガ、之ヲ合計スルト約七百二十萬圓許リニナリマス、七百二十萬圓ト云フ金ハ中々大金デアリマシテ、今大藏省ノ政府委員ノ言ハレマス如ク、是ハ今日ノ財政狀況ト之ヲ調和サセテ行クコトハ、餘程困難デアラウカト思ヒマスガ、併シ陸軍ト致シマシテハ、成ベク八錢デナクテモ二錢デモ三錢デモ、増加スルコトガ出來タナラバヤリタイト、斯ウ思ヒマス、併シ軍縮ノ事ニ付テ今御話モゴザイマシタガ、先刻委員會デ承リマスヤウニ、陸軍ガ整理シタ金ハ手取幾ラト云フコトニナリマス、其中カラ兵士ニ給與スルコトガ出來ナイコトニナリマス、ドウシテモ或方法ヲ以テ大藏省カラ財源ヲ御賞ヒシマセスト、今日デハ困難ト思ヒマス

○三善委員長 ドウ致シマセウカ、是ハドツチカ決メテシマヒタイト思ヒマス、今松實君ノ言フヤウニ、二項ダケ取ッテシマウト云フノモ……

○松實委員 一寸速記ヲ……  
〔此間速記中止〕

○三善委員 ソレデハ速記ヲ……

○三善委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス  
午後三時四十一分散會